

## ●世界遺産

- ・ 2020 年では日本は全部で **23 件** が世界遺産として登録されている
- ・ **2020 年はコロナの影響で新規登録は無し**

認定年	名称	場所
2013	<b>富士山</b> [信仰の対象と芸術の源泉]	山梨県・静岡県
2014	<b>富岡製糸場と絹産業遺産群</b>	群馬県
2015	<b>明治日本の産業革命遺産</b> 製鉄・製鋼、造船、石炭産業	福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・鹿児島県・山口県 岩手県・静岡県
2016	ル・コルビュジエの建築作品 近代建築運動への顕著な貢献	東京都
2017	「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群	福岡県
2018	長崎と天草地方の <b>潜伏キリシタン関連遺産</b>	長崎県・熊本県
2019	<b>百舌鳥・古市古墳群</b> 古代日本の墳墓群	<b>大阪府</b> 

# ●無形文化遺産

- ・口承伝統など無形文化財として保護対象とされたもの
- ・日本では全部で **22 件**登録されている
- ・2020 年「**伝統建築工匠の技**」が無形文化遺産登録！

ユネスコ無形文化遺産に登録されました

てんどう けんちく こうしゅう  
**伝統建築工匠の技**

木・草・土などの自然素材を生かす知恵、周期的な保存修理を見据えた材料の採取や再利用、部材の調和や一体化など、建築遺産とともに古代から伝統を受け継ぎ、工夫を重ねて発展してきた伝統建築技術。

<p><b>建造物修理</b> けんぞうぶつしゅうり</p> <p>古代の社寺をはじめ、あらゆる時代・分野・構造の日本の文化財建造物の調査、修理設計、技術指導など保存修理の設計監理を行う。</p> <p>● 選定年月日 昭和51年5月4日</p> <p>● 保存団体名 (公財)文化財建造物保存技術協会</p> 	<p><b>檜皮採取</b> ひわださいしゅ</p> <p>屋根葺きの一つで社寺に多く見られる檜皮葺きに用いる材料を、80から100年生以上の檜の立木から、樹皮の檜皮を剥ぎ取り加工する技術。</p> <p>● 選定年月日 平成30年9月25日</p> <p>● 保存団体名 (公社)全国社寺等屋根工技術保存会</p> 
<p><b>建造物木工</b> けんぞうぶつもんこう</p> <p>木造が主流の日本建築における、古式の技術が受け継がれてきた木工の技術。</p> <p>● 選定年月日 昭和51年5月4日</p> <p>● 保存団体名 (公財)文化財建造物保存技術協会 (一社)日本伝統建築技術保存会</p> 	<p><b>屋根板製作</b> やねいたせいさく</p> <p>柿葺、桐葺、瓦葺下地の土居葺に用いる屋根板を、木材を手作業で割り、形状を整えて製作する技術。</p> <p>● 選定年月日 平成30年9月25日</p> <p>● 保存団体名 (公社)全国社寺等屋根工技術保存会</p> 
<p><b>檜皮葺・柿葺</b> ひわだぶき・こけらぶき</p> <p>社寺に多く見られる樹皮や板を用いた、日本の伝統的な屋根葺きである檜皮葺・柿葺の技術。</p> <p>● 選定年月日 昭和51年5月4日</p> <p>● 保存団体名 (公社)全国社寺等屋根工技術保存会</p> 	<p><b>茅採取</b> かやさいしゅ</p> <p>農山村の民家に多く見られる茅葺に用いるための、スキヤヨシ等を育成し、採取する技術。</p> <p>● 選定年月日 平成30年9月25日</p> <p>● 保存団体名 (一社)日本茅葺き文化協会</p> 